2018年11月20日

カナダの金融市場動向　Weekly Report

【2018年11月10日～2018年11月16日の推移】

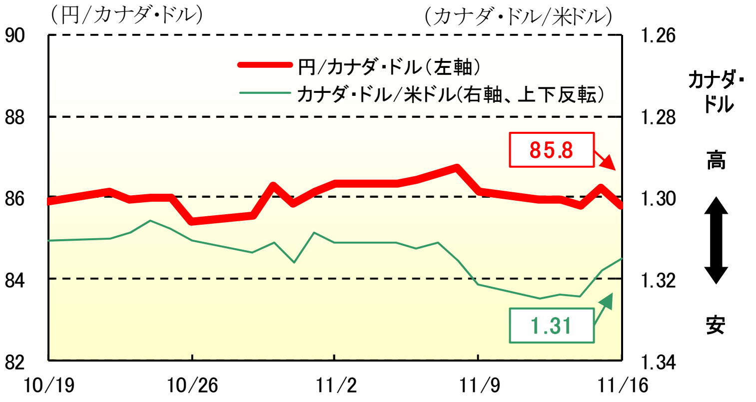
【1】先週の回顧

先週のカナダ・ドルは、対円で下落しました。カナダ5年国債利回りは低下しました。

米国株が軟調に推移し、投資家のリスク回避姿勢が高まったことなどを背景にカナダの金利は低下、カナダ・ドル円は下落しました。原油価格の下落も相場の下押し材料になりました。

また、米国・メキシコ・カナダ協定が米議会で民主党の支持を得るためには、改定が必要との報道がありました。しかし、大幅な書き直しは必要ないとの見方もあり、相場への影響は限定的となりました。

【カナダ・ドル　為替推移】　（2018年10月19日～2018年11月16日）



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

（出所）Bloomberg等より大和投資信託作成

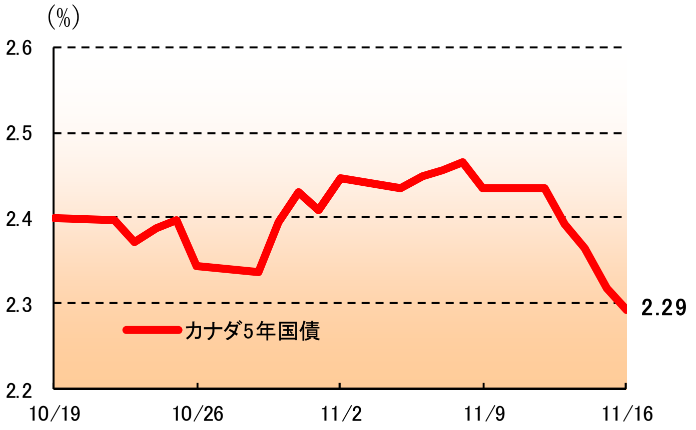
【2】今週の見通し

今週は、小売売上高、CPI（消費者物価指数）の発表が予定されています。CPIに関しては前回は予想を大幅に下回る結果になったものの、カナダ銀行（中央銀行）が目標としている＋2％（前年比ベース）を上回っており、利上げ観測を後退させる材料にはなりませんでした。今週のCPIに関しても＋2％を上回れば、利上げを後押しする結果になることが考えられるため、カナダの金利や、カナダ・ドル円を下支えすると考えられます。

ただ、FRB（米国連邦準備制度理事会）高官の発言を受けて、市場で米国の利上げ観測が後退していることは、金利低下、円高圧力を強める要因になりそうです。

また、足元、米国株、原油価格が軟調に推移しており、カナダの通貨、金利の上値を抑える要因になっています。原油価格に関しては、サウジアラビア等の産油国が減産を検討しているとの報道などを受けて、値を戻しつつあり、底打ちのきっかけとなるかに注目しています。

【カナダ　金利推移】　（2018年10月19日～2018年11月16日）



（出所）Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212（営業日の9:00～17:00）HP http://www.daiwa-am.co.jp/

大和投資信託
Daiwa Asset Management